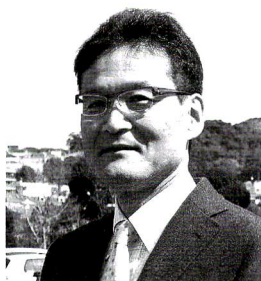


## 第46回水産学部鴻洋祭開催にあたって



水産学部の学部祭である『鴻洋祭』が、5月23日（土）、24日（日）の両日、長崎大学文教キャンパス内で開催されます。今年は、「訪れていただいた皆様に笑顔にしたい」という思いを込め、テーマを「笑海（えみ）」に定めて、例年どおり募金活動、生物展示・タッチプール【無為自然の海】、「ハマチの解体 show!」や「○×クイズ」、「体験！水産学部」などの各種イベント、「スライム作り」、「割れにくいシャボン玉」などの体験実験、水産加工品販売、バザーテント等を行う予定とのことです。

国立大学では、平成16年の法人化以降、6年毎に中期目標中期計画を策定していますが、今年度は第2期の最終年度に当たり、現在、第3期中期目標中期計画作成の最終段階に入っています。水産学部では、教育・研究のグローバルを進める一方で、地域と密着した社会貢献型の教育・研究の推進とそれに基づく「地方創生」を今後6年間の主要なテーマと考えています。その一環として、現在、水産学部の学生が、地元の水産業に関わる社会人、あるいは高校生と共同して現場の課題解決にあたるような実践的教育プログラムの開発を検討しています。『鴻洋祭』は、そのようなプログラムの入口、すなわち学生が地域の大人や高校生、子供たちと関わることの面白さ、大切さを学ぶ一つの出発点になり得るものと期待しています。

水産学部では、第3期のもう一つの課題として、標本資料館を整備し、魚類や鯨類などの貴重な標本を公開することを計画しています。数年後の『鴻洋祭』では、標本資料館と生物展示・タッチプールなどの企画が連携して、長崎にさらなる笑海を創生することができるかもしれません。

平成27年4月

長崎大学水産学部長 荒川 修